

「社会福祉法人遠淡海会創立 50 周年を迎えて」

社会福祉法人遠淡海会
理事長 水谷 博

昭和 49 年、静岡県職員（県立三方原学園）を退職した、先代理事長水谷千歳、ひさ夫妻が、
浜松市鴨江に社会福祉法人を創設。故郷の浜名湖に因み、法人名を「遠淡海会」と命名しました。
これを母体として県西部地域に初めて浜松乳児院を開設、親の愛情に恵まれない乳児の養育に専念し、令和 6 年度で 50 周年を迎えることになりました。昭和 52 年には浜松市大瀬町に
「若宮保育園」（現在の「若宮こども園」）を開設、平成元年には浜松市神ヶ谷町に特別養護老人ホーム「神久呂の園」を設立、平成 16 年には浜松市公立保育園民営化第 1 号として浜松市立
「和合保育園」（現在の「和合こども園」）が遠淡海会に移管されました。その後、令和 3 年に
児童発達支援事業者「ふぁーろ」を和合こども園敷地内に設立。現在では 200 名余の職員により乳幼児から高齢者に至る 440 名余のご利用者の皆様に福祉サービスを提供し、微力ながら地域福祉の一部を担わせていただいております。これもひとえに、行政をはじめ、地域やご利用者・ご家族の皆様のご支援とご協力の賜と心より感謝申し上げる次第です。

私は平成 16 年 3 月、51 歳の時に 29 年間勤務した静岡県職員を退職し、前理事長の後任として遠淡海会にお世話になり本年度で 20 年目を迎えます。

この間、多くの職員の皆さんに支えられながら、創設者の基本理念である「施設における良き雰囲気づくりと心の成長」を施設運営の基本として、ご利用者が安全に安心して過ごせるよう、また、職員が仕事を通じて自分を成長させることができるよう、施設の環境整備に努めてまいりました。

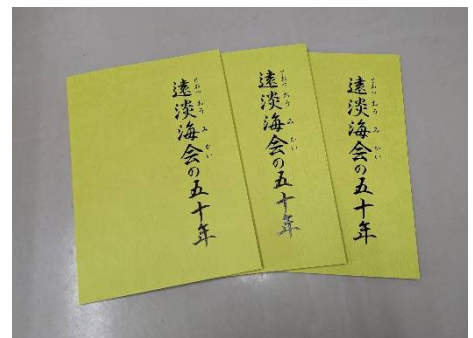
今後、少子・高齢化の更なる進行に伴い、家庭における養育機能の変化や家族の介護負担の増加等により、家庭と施設との連携や社会全体で乳幼児や高齢者等を支える仕組みづくり等福祉ニーズの更なる多様化が予想されます。

このため遠淡海会では、創立 50 周年を節目として

- ① 施設ご利用者の安全、安心を確保するための防災・災害対策の充実
- ② 生産性の向上による福祉サービスの質の向上と福祉人材の確保・育成
- ③ 地域貢献による社会福祉法人の公益的役割の充実

の 3 つを基本として、福祉サービスの多様化・高度化の要請に応え、地域社会への貢献と安定的・継続的な福祉サービスの提供に努めていきたいと考えます。

法人創立 50 周年を迎え、これまで支えていただいた多くの皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



法人 50 周年記念誌